

■ 県中部の施設・事業所

事業所名	施設種別	所在地	電話番号
つつじ作業所	就労継続支援B型事業所	倉吉市みどり町3576-1	0858-22-2978
ワークサポート 敬仁会館	就労移行支援事業所 就労継続支援B型事業所	倉吉市山根55-39	0858-26-0480
琴浦ふれあい作業所	就労継続支援B型事業所	東伯郡琴浦町赤碕1113-1	0858-55-1124
東伯けんこう	就労継続支援B型事業所	東伯郡琴浦町大字徳万352-4	0858-53-1439
向山ブルースカイ	就労継続支援B型事業所	倉吉市和田東町向山914-58-2	0858-22-8778
ハッピーバーディー	就労継続支援B型事業所	東伯郡湯梨浜町長和田1835-1	0858-32-0780
ゆりはま大平園	救護施設	東伯郡湯梨浜町長和田1835-1	0858-32-0780

■ 県西部の施設・事業所

事業所名	施設種別	所在地	電話
F&Y 境港	就労継続支援A型事業所 就労継続支援B型事業所	境港市中野町1929-1	0859-42-1121
エポック翼	就労移行支援事業所 就労継続支援B型事業所	米子市米原1460-7	0859-36-2005
おしどり作業所	就労継続支援B型事業所	日野郡日野町黒坂1223	0859-74-0331
小竹の郷	就労継続支援B型事業所	西伯郡大山町小竹1297-19	0859-54-2765
柿木村共同作業所	就労継続支援B型事業所	西伯郡大山町高田1685-3	0859-54-5454
サンライズ作業所	就労継続支援B型事業所	米子市富益町4548番地2	0859-28-8688
特定非営利活動法人 あおぞら	就労継続支援B型事業所	米子市米原一丁目7-1	0859-31-2310
ほっとサロン	就労継続支援B型事業所	西伯郡大山町末長503 保健福祉センターだいせん内	0859-53-5836
ストーク作業所	就労継続支援B型事業所	西伯郡大山町平田376	0859-53-5859
よなご大平園	就労継続支援B型事業所	米子市二本木1690	0859-56-6226
特定非営利活動法人 つなで	就労継続支援B型事業所	日野郡日南町生山834-1	0859-82-1355
ひかり	就労継続支援B型事業所	西伯郡伯耆町久古1042	0859-68-3334
伯耆みらい	就労継続支援B型事業所	西伯郡伯耆町大殿1010番地	0859-68-4652
まつぼっくり事業所	就労継続支援B型事業所	境港市岬町45-3	0859-21-8561
もみの木作業所	就労継続支援B型事業所	米子市富益町4722	0859-28-9174
淀江作業所	就労継続支援B型事業所	米子市淀江町淀江499-1	0859-56-2025
米子ワークホーム	就労移行支援事業所 就労継続支援B型事業所	米子市石井1223-1	0859-26-5222
ワークセンターしんらい	就労継続支援B型事業所	米子市淀江町佐蛇227-1	0859-56-2319
小竹の郷	就労継続支援B型事業所	西伯郡大山町小竹1297-19	0859-54-2765
吾亦紅	就労継続支援B型事業所	米子市彦名町2850-1	0859-24-2053
NPO法人サポートイルカ	就労継続支援B型事業所	米子市新山1	0859-26-2707

モデル事業の研修会等の記録

各プロジェクトチーム、マッチングセンター、障がい福祉課で実施した研修会等

農福基礎研修

(1) 第1回農福基礎研修

開催日	平成22年5月25日	会場	県農業大学校（倉吉市関金町）
参加者	障害福祉サービス事業所等代表者等21名、マッチングセンター9名、県職員21名（全51名）		
主な内容	時間	テーマ	講師
	9:00~12:00	農業分野での障がい者就労支援に係るポイント	独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構農村工学研究所 山下仁 研究員
	13:00~13:30	農作物の栽培管理	県農林水産部農林総合研究所企画総務部技術普及室 渡辺博幸 室長
	13:30~16:00	農作業実習（4コース）	県農業大学校講師



(2) 第2回農福基礎研修

開催日	平成22年9月14日	会場	県農業大学校（倉吉市関金町）
参加者	障害福祉サービス事業所等代表者等14名、農業者2名、有償ボランティア1名、マッチングセンター4名、特別支援学校職員3名、県職員12名（全36名）		
主な内容	時間	テーマ	講師
	9:00~10:00	農業基礎知識 （障害福祉サービス事業所等職員等対象）	県農林水産部農林総合研究所企画総務部技術普及室 渡辺博幸 室長
	10:00~10:30	福祉基礎知識 （農業者等対象）	県福祉保健部障がい福祉課障がい者就労担当 松尾育子 主幹
	13:00~16:00	障がい者雇用助成制度	鳥取労働局職業安定部職業対策課 荒尾卓哉 地方障害者雇用担当官
	13:00~16:00	農作業実習（4コース）	県農業大学校講師、学生



岡山市事例視察研修（3プロジェクトチームで合同開催）

開催日	平成22年7月12日	視察先	岡山県岡山市内で障がい者雇用を実践している農業生産者等
参加者	障害福祉サービス事業所等代表者等22名、農業者等7名、マッチングセンター4名、特別支援学校職員9名、県職員20名（全62名）		
主な内容	時間	テーマ	視察先・対応者
	10:00~11:15	ネギ生産現場における障がい者雇用の状況等	農業生産法人(有)岡山県農商 板橋完樹 代表取締役
	11:30~12:10	岡山県における障がい者雇用にかかる支援策	有限会社トモニー 萩原義文 専務取締役 (岡山県障害者就労継続支援A型事業所連絡協議会長)
	13:40~14:50	花き生産現場における障がい者雇用の状況等	グリーンプラネット尾崎 尾崎勝 代表取締役



東部プロジェクトチームによる研修等

開催日	内容	主な対象者
平成22年 4月 8日	東部圏域事業説明会	障害福祉サービス事業所等
平成22年 6月 1日	ラッキョウの根切り現地体験研修	障害福祉サービス事業所等
平成22年 9月 8日	梨選果場視察研修	障害福祉サービス事業所等
平成22年10月18日	西条柿皮むき現地体験研修	障害福祉サービス事業所等
平成23年 1月28日	平成22年度協力農業者等報告会	障害福祉サービス事業所等、農業者
平成23年 5月19日	梨の小袋かけ現地体験研修	障害福祉サービス事業所等
平成23年 6月 7日	らっきょうの根切り現地体験研修	障害福祉サービス事業所等
平成23年10月11日	西条柿皮むき現地体験研修	障害福祉サービス事業所等
平成24年 2月23日	県外（静岡 京丸園）視察(MC)	障害福祉サービス事業所等、農業者
平成24年 3月15日	平成23年度関係者研修報告会	障害福祉サービス事業所等、農業者



中部プロジェクトチームによる研修等

開催日	内容	主な対象者
平成22年 4月15日	第1回事業所説明会	障害福祉サービス事業所等
平成22年 9月 7日	第2回事業所説明会	障害福祉サービス事業所等
平成22年11月18日	農業者研修 (MC)	農業者
平成22年11月30日	農業法人等視察研修	障害福祉サービス事業所等
平成23年 1月18日	指導農業士研修 (東伯地区農業士会主催)	農業者
平成22年 2月21日	琴浦町認定農業者協議会研修	農業者
平成23年 3月29日	第3回事業所説明会	障害福祉サービス事業所等 、農業者
平成23年12月13日	平成23年度意見交換会 (MC)	障害福祉サービス事業所等 、農業者



西部プロジェクトチームによる研修等

開催日	内容	主な対象者
平成22年 4月26日	梨の袋かけの事前研修 (園芸試験場)	障害福祉サービス事業所等
平成22年10月22日	農業法人等視察研修	障害福祉サービス事業所等
平成22年10月26日	日野管内農業法人等視察研修	障害福祉サービス事業所等
平成22年10月27日	22年度上半期成果発表会	障害福祉サービス事業所等 、農業者
平成22年11月 8日	セミナー「農業所得向上の秘訣」 (MC)	障害福祉サービス事業所等 、農業者
平成23年 7月28日	農作業体験実習	障害福祉サービス事業所等
平成23年 8月10日	県外事例視察研修	障害福祉サービス事業所等 、農業者
平成23年10月28日	原木しいたけ栽培学習会	障害福祉サービス事業所等
平成23年11月15日	農業者・障害福祉サービス事業所等の6次産業化セミナー (MC)	障害福祉サービス事業所等 、農業者
平成24年 1月26日	商品開発と食品表示のポイントセミナー (MC)	障害福祉サービス事業所等 、農業者
平成24年 3月 7日	平成23年度意見交換階	障害福祉サービス事業所等



※各マッチングセンター主催のものは、(MC) と記載。

モデル事業の広報活動

モデル事業の広報活動、メディア掲載

1. 県広報紙「とっとり県政だより」

掲載号	掲載箇所	概要
2010年6月号	県政トピックス	制度紹介、有償ボランティア募集について掲載
2011年2月号	特集	農業分野での障害のある方の活躍について掲載

2. 県政テレビ「とっとりTRY！」

放送日	概要
2010年4月18日	「サービス充実！障がい福祉事業所」として、ハッピーパーティーの水耕栽培や、伯耆みらいの「さしみわかめ」等の取り組みを紹介
2011年8月28日	「鳥取発！農福連携モデル事業」として、取組事例を紹介

3. 特設Webサイト

県障がい福祉課サイト配下に特設サイトを設け、制度紹介、受託作業実績等について掲載。 <http://www.pref.tottori.lg.jp/noufuku/>

4. 主な新聞掲載

掲載紙	掲載日	概要
日本海新聞、朝日新聞、読売新聞	2010年 4月27日	県園芸試験場で実施した、梨の小袋かけの実習の様子や事業制度等について紹介
産経新聞	2010月 5月22日	〃
日本農業新聞	2010月 9月17日	県中部における受委託の事例を紹介
(共同通信社配信)	2010年 9月頃	鳥取県の取組、ラッキョウの植付現場等を紹介
日本海新聞、山陰中央新報	2010年10月29日	西部地区成果発表会の様子を紹介
読売新聞	2011年 2月 8日	全国面「生活わいど」で「農業取り組む障害者施設」として鳥取県の農福連携の取組等について紹介
日本農業新聞	2011年12月15日	県西部でのモデル事業の取組を中心に紹介

5. テレビ放映

放送局	放送日	番組名	番組内容
NHK	2011年2月28日 (3回)	いちおしニュースとっとり	農業と福祉の連携を目指す

6. 寄稿

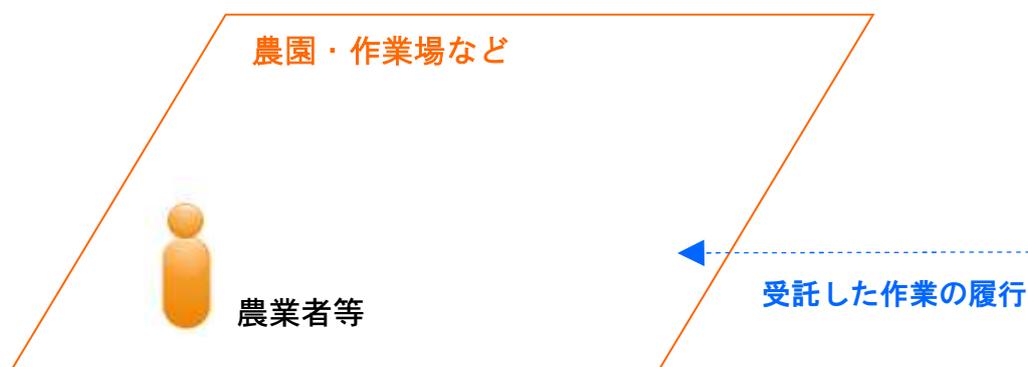
掲載紙	掲載号	概要
月刊ガバナンス	2010年9月号	制度紹介について掲載
週間社会保障	2011年1月10日号	制度紹介、初年度実績等について掲載
都道府県展望	2011年3月号	〃
働く広場	2012年8月号	梨の小袋かけ作業等を紹介

施設外就労による農作業受委託イメージ

参考資料

モデル事業による作業受委託に限らず、農家等と障害福祉サービス事業所等間での作業受委託には、必要な規定等の整備や配慮があります。ここでは、「施設外就労」という形態で障害者自立支援法に基づく事業所の利用者と職員が農家等に出かけて、作業を行う場合のイメージを掲載しています。

農家・法人等



- 作業内容、作業量、作業場所、委託金額、支払日等を明確にし、作業日や作業時間も含め施設・事業所と協議。
- 協議後、作業委託の契約を締結。
- 作業に係る指示・指摘等は、必ず施設職員に直接伝える。
- 技術的な指導は、職員と障がい者へ一緒に行う。

請負契約と委任契約

民法上の整理として、請負とは仕事の完成と報酬の支払いとに対価関係がある場合をいい、工事請負や各種注文請書など結果責任を負うものがこれにあたります。

一方、委任契約は、業務の遂行責任を負うというもので、必ずしも結果のみを目的としていません。

農作業等の受委託は、時間単価や数量単価を定めるなどし、委任契約を交わすケースが多いようです。

印紙税

契約書などの経済的取引などに関連して作成される文書に課税される税金です。契約書を作成する場合は、所定の額面の収入印紙をはり付け、印章又は署名で消印することによって納税します。詳しくは、最寄りの税務署におたずねください。

請負に関する契約書

記載された契約金額	印紙税額※
1万円未満	非課税
100万円以下	200円
200万円以下	400円
：	：

※1通又は1冊につき

継続的取引の基本となる契約書

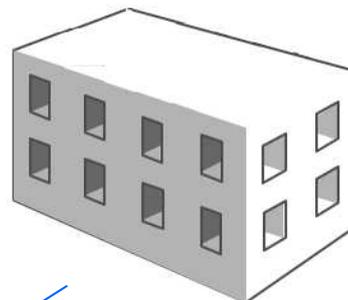
印紙税額※
4,000円

・業務委託契約書など委任契約のために作成される書面が該当します。
・契約期間が3ヶ月以内で、かつ更新の定めがないものは除きます。

※1通又は1冊につき

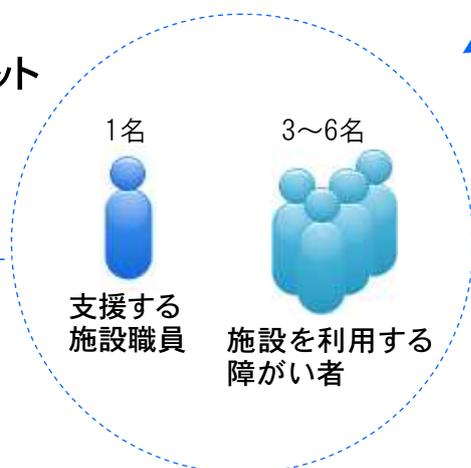
- 運営規程や個別支援計画に施設外就労を記載し、施設外での業務・作業などの対象要件を満たすことが必要。
- 継続A型は最低賃金、継続B型・就労移行支援は工賃を支払う。
- 万が一に備え、保険をかけておくことが必要。

施設・事業所



施設外就労

ユニット



- 職員は農家・法人等と意思の疎通を図り、障がい者は職員と一緒に作業に取り組む。
- 作業の仕上がりや連続性を確保するため、障がい者への支援は、受託作業期間中、極力同じ職員が対応するよう配慮。
- 初めて受託する作業や農家等については、可能な限り契約締結前に、実際に作業するユニットで作業現場に出かけ、互いに顔を見知ったり、作業内容についての説明を受けるなど、事前の調整に心がける。

作業時の服装、道具の準備

受託する作業によって、必要な道具、服装などが異なります。
事前の打ち合わせで必要なものを準備し、使い方を利用者に教えるなどし、作業開始時には使用できるようにしておきましょう。
また、委託者から道具を借り受けて作業を行う場合もあるので、数量や管理方法などを事前に相談しておきましょう。

衛生管理、体調管理

もとより必要なことですが、食品衛生に関わる作業の場合は、特に体調管理に配慮が必要です。
食中毒など食品の事故発生を未然に防ぐことが必要不可欠です。
道具や手先などの洗浄、消毒とともに、作業前に従事する利用者、職員に下痢などの症状がないか確認するといった、配慮に心がけましょう。

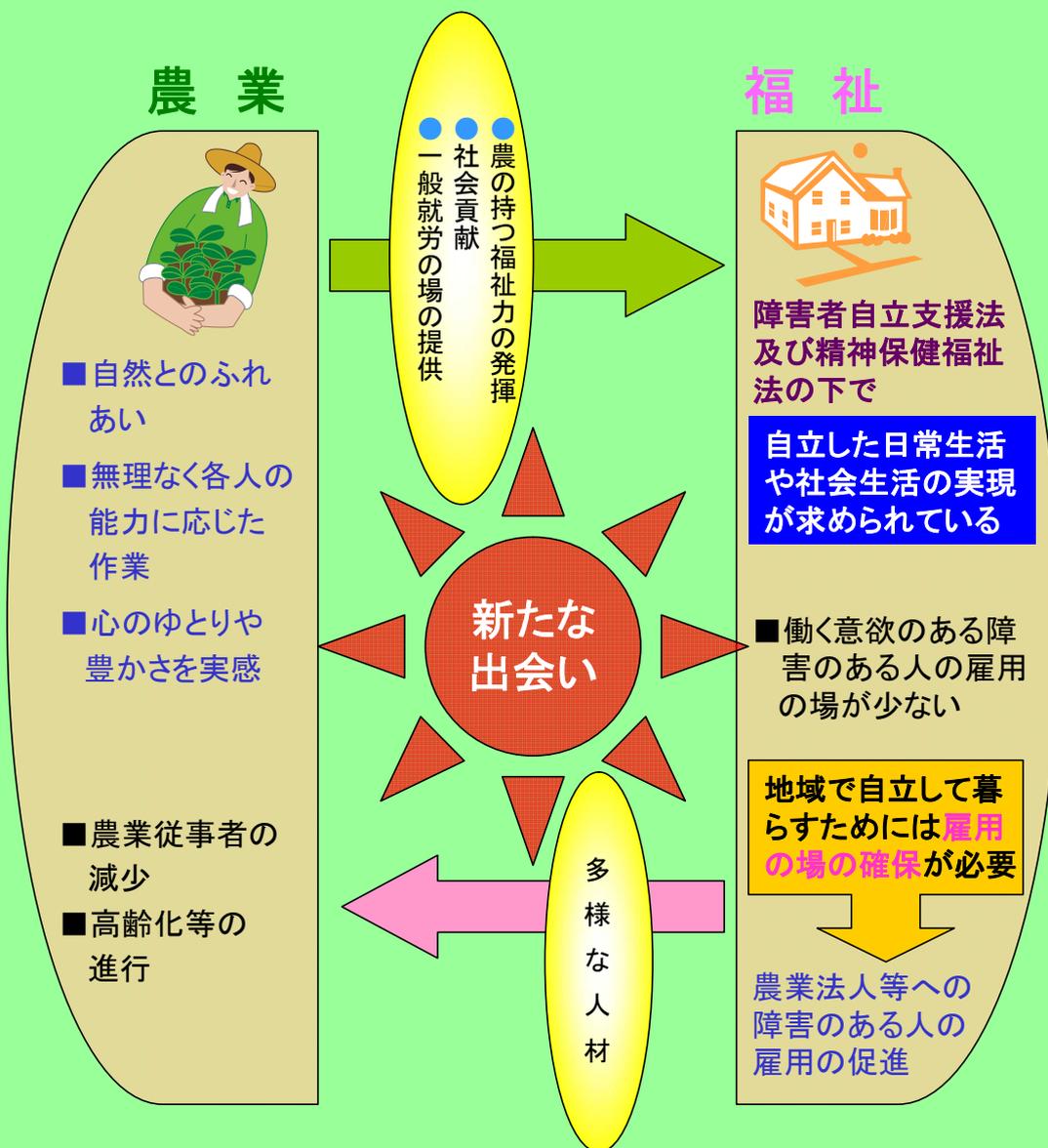
農業分野での障がいのある人の雇用のススメ

参考資料: 中国四国農政局経営支援課提供

— 障害のある人の雇用促進パンフレット

農業分野での障害のある人の雇用のススメ

障害のある人と農業との新しい出会い

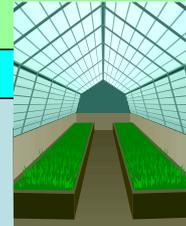


岡山地域農業の障害者雇用促進ネットワーク
(事務局: 中国四国農政局経営支援課)

農業分野での障害のある人の 受け入れにあたって

障害のある人の受け入れメリット

- 工夫次第で貴重な労働力として期待できる
- 障害のある人の雇用促進という社会的要請に貢献
- 障害者のある人が補助的作業を行うことで、自分は他の作業に専念できる
- 職場の雰囲気や和む



障害のある人が得意な作業、不得意な作業

<知的障害のある人>

- 複雑な工程を経ない繰り返し作業を得意とすることが多い(ただし、切り揃えたり、計量作業等であいまいな基準に基づく作業は不得意)
- 早朝、長時間の作業については不得意としない
- 根気強く、繰り返し教える必要がある

<精神障害のある人>

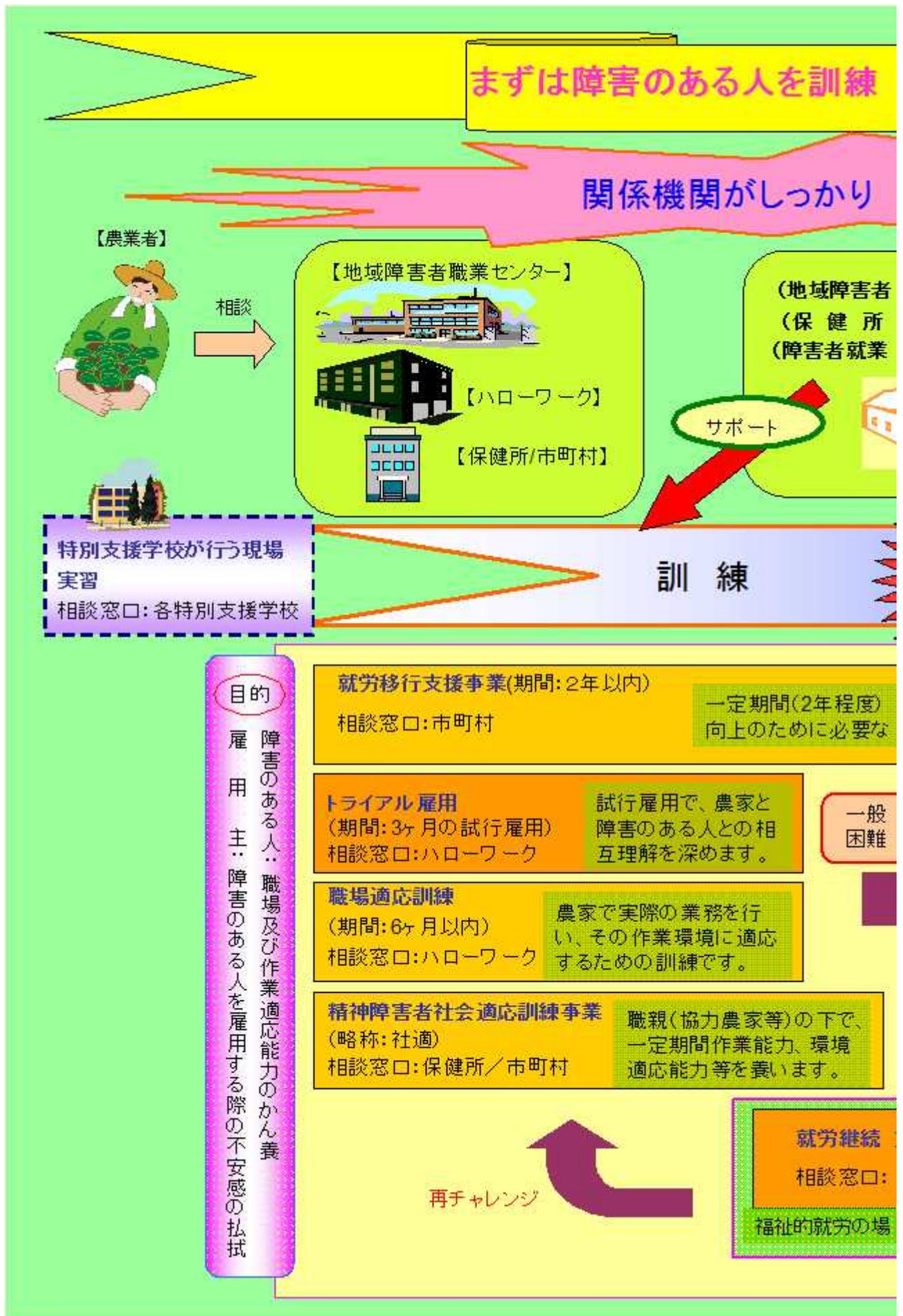
- 複雑な工程を経ない繰り返し作業に加え、自分で工夫して作業に取り組むことができる
- 体調によって作業に波が生じる(勤務時間、勤務日数の調整は柔軟に)
- 早朝作業などの不規則な出勤は不得意とすることが多い
- 薬を服用している人もいるので配慮が必要

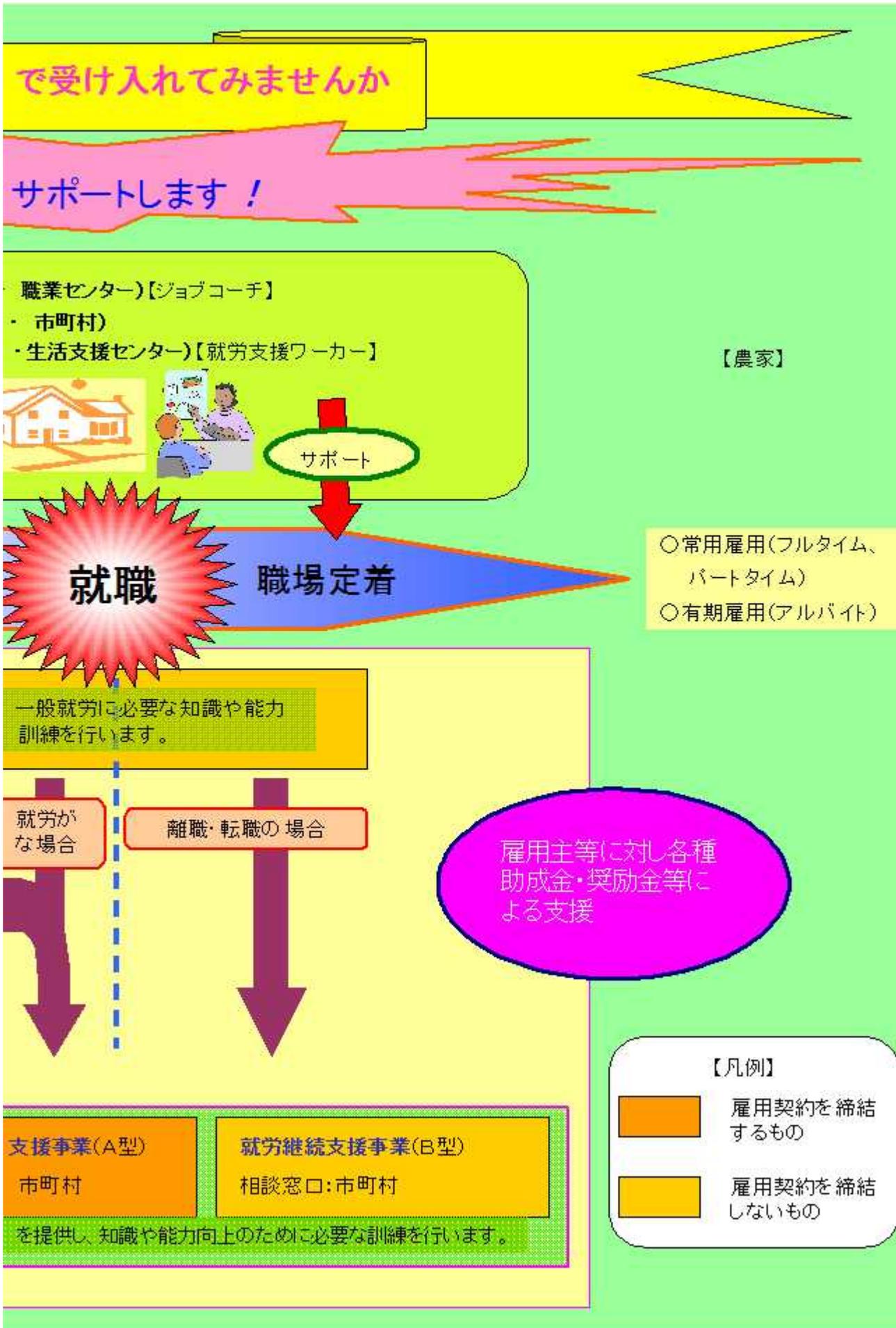
岡山地域障害者雇用促進ネットワーク

農業分野における障害のある人の雇用を促進することを目的として、岡山市に所在する福祉、保健、労働、農業の各行政機関と農業者、障害者就労支援団体等により構成された任意団体で、平成21年3月10日に発足しました。

問い合わせ先 中国四国農政局経営支援課(TEL 086-224-4511:代表)

中国四国農政局管内における農業分野での障害のある人の雇用事例は、農政局のホームページ(<http://www.maff.go.jp/chushi/keiei/fukusi/index.html>)でご覧いただけます。





県内特別支援学校の農業分野の取組

特別支援学校とは、障がいのある児童生徒等に幼稚園、小学校、中学校、高等学校に準ずる教育を行うとともに、自立を図るために必要な知識技能を養うことを目的とした教育が行われる学校で、鳥取県内では10校（分校を含む）が設置されています。

特別支援学校では、自立と社会参加を目指し、児童生徒等の障がいの特性に合わせた適切な指導及び必要な支援が行われており、対象となる障がい種は、視覚障がい、聴覚障がい、知的障がい、肢体不自由、病弱・身体虚弱です。

特別支援学校の中には高等部の学習において、国語、数学などの教科のほかに、職業生活に必要な技能や知識を習得するため「作業学習」という時間をカリキュラムの中に設けており、流通、木工、手芸などの作業班に分かれて学習を行っています。

特に、農業、園芸、栽培など農業分野の内容を扱う作業班は、全ての知的障がい特別支援学校に設けられており、実際に農場やビニールハウス等での学習を行いながら、働く力を伸ばしています。

また、特別支援学校では、就労に関するセミナー等を開催し、企業等関係者に学校や生徒の様子を知ってもらったり、就労に向けて意見交換を行ったりしながら就職先の拡大を目指しています。現在、特別支援学校の生徒の3分の1程度が一般企業等へ就職し職業人として活躍していますが、農業関係の職に就くケースはまだ少なく、鳥取県の主要産業である農業分野への就職先拡大に向けて取組を進めています。

さらに、平成25年春には、知的障がいのある生徒を対象にした鳥取県では初めての新しいタイプとなる特別支援学校「琴の浦高等特別支援学校」が開校されます。ここでは、生産流通科、サービスビジネス科の2つの職業学科が設置され、特に生産流通科では、水耕栽培の施設を利用して、野菜の栽培等について学ぶことができます。

■ 県立米子養護学校の農業分野での取組

「農加工班」での作業

農加工班では、野菜の生産・管理・加工・販売などの活動をしています。ほ場では、ネギやキャベツなどの野菜を栽培し、作業室では手順表を参考に生産物の袋詰めや調理を行っています。



作業室での芋汁作り



ネギ畑の除草作業

「栽培班」での作業

栽培班では、花の種まき、植え替え、手入れなどの活動をしています。マリーゴールドやパンジーなどの花を20種程度栽培し、出荷・配達の実習も行いながら、勤労観や職業意欲を育てています。



花きのポットへの施肥作業



ポット苗の播種作業

鳥取県内の農林水産業関係の取組

施設・事業所等が取り組んでいるモデル事業以外の事例

自主事業として農業に取り組む障害福祉サービス事業所等や、モデル事業外で連携した取り組みを行っている事例があります。

■ 自主事業として農業生産等に取り組む障害福祉サービス事業所等

ウイズユー千代工場（鳥取市）

「サラダほうれん草」、「サラダみずな」を水耕栽培し、椎茸は「サンマッシュ和」というブランドで市場に卸し、県内スーパー等で販売しています



伯耆みらい(伯耆町)

塩を使わないで鳥取県産わかめを冷凍保存し、ネットなどで販売しています。



社会就労センター げんき工房(北栄町)

地元北栄町でらっきょうを栽培し、らっきょう酢漬けに加工して期間限定販売しています。



ハッピーバーディー(湯梨浜町)

水耕栽培で「サラダほうれん草」を生産し、JAの直売所等へ販売しています。



柿木村共同作業所(大山町)

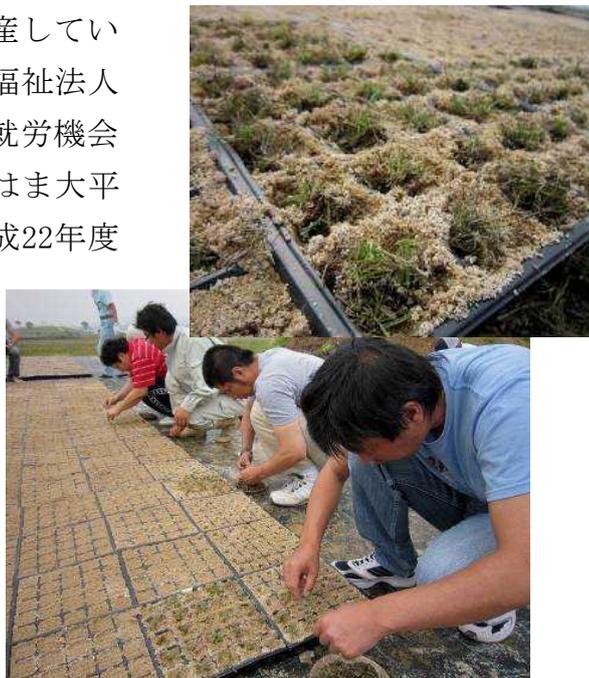
椎茸（生・干し椎茸）、ナメコを栽培し、販売しています。



■ 「鳥取方式」による芝ポット苗の委託生産

「鳥取方式」の芝ポット苗を生産している株式会社チュウブ緑地と社会福祉法人敬仁会が連携し、障がい者等の就労機会拡充の一環として救護施設ゆりはま大平園で芝ポット苗の委託生産を平成22年度にスタートさせました。

平成23年度は、他の3事業所とともに17万ポットを育苗・出荷しました。



■ 水産業との連携支援による新商品開発

魚の干物づくり(砂丘福祉作業所)

施設利用者が鳥取県漁業協同組合の指導の下、職場実習として水産加工に取り組み、カレイ等の加工技術を習得。現在加工作業の受託、自主製品の製造・販売中です。



板わかめづくり(すずかけ)

鳥取県漁業協同組合酒津支所で天然ワカメを入手し、生ワカメを乾燥させ板わかめ等の商品開発に着手。同漁協の協力を受け、板わかめを商品化しました。



障害福祉サービス事業所等の商品や店舗、受託作業などを紹介するホームページ

は〜とふるTOTTORI

<http://db.pref.tottori.jp/heartful.nsf/index.htm>



鳥取発!農福連携モデル事業 事例集

※ 本書は、独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究所の刊行した、「農業分野における障害者就労マニュアル」等を参考に製作しています。

※ 本書は、職員の手作りで製作しています。
県庁内の軽易な業務の一部を行うために設置している「ワークセンター」で働く知的障がい者のかたに製本作業をしていただきました。

<http://www.pref.tottori.lg.jp/noufuku/>

鳥取県公式ホームページ「とりネット」内に特設サイトを設け、鳥取県の農福連携に関する取組や受委託情報を掲載しています。

発行者

鳥取県福祉保健部障がい福祉課

〒680-8570 鳥取市東町一丁目220

電話 : 0857-26-7889

ファクシミリ : 0857-26-8136

メールアドレス : shougaiukushi@pref.tottori.jp

障がいを知り、共に生きる



あいサポートバッジ